

本日の研究会で御議論いただきたい事項

京都府 環境部 地球温暖化対策課
京都市 環境政策局 地球温暖化対策室

本研究会における検討の進め方のイメージ

今回の研究会で議論

STEP.1 京都における適応策の各分野（国が示す7分野）の特徴、特性、あるいは抱える課題等の整理（各分野の特徴の理解）

STEP.2 1で明らかにした各分野に共通する特徴・特性・課題等ごとに応じた施策の方向性の検討
（既存施策の延長で対応可能、新たに影響評価が必要、継続的なモニタリングが必要 など）

STEP.3 各主体（国、府、市、地域気候変動適応センターなど）の役割分担も含めた京都における適応策の在り方の取りまとめ

御議論いただきたい事項

本日は、京都における適応策の各分野の特徴等を整理するため、各分野の特徴を表す要素とその評価，課題等について議論し、施策の方向性を整理していくための情報の整理を行いたい。

影響分野	特徴等を表す要素の例
農林水産業	● 重大性
水環境・水資源	● 緊急性
自然生態系	● 影響の現れる時間軸(短期or長期)
自然災害	● 地域特性
健康	● 「京都」特有の事象
産業・経済活動	...
国民生活	

参考：京都府内大学研究者等へのヒアリング結果一覧

分野	コメント
全般	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和策も含めて、長期的視点で考える必要。 ○ 必要となるデータを整理し、京都らしいシナリオを描いていく必要。 ○ 分野による違いの整理が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組の進捗度（データ収集から必要、将来予測が必要など） ・ 分野特性に応じた対応策（例：農業→品種転換，生態系→不可逆変化のためモニタリングが重要） ・ 対策の進め方（国と地方の役割，トップダウン・ボトムアップなど） ○ キーワードは「後悔しない」。後手に回ると費用も労力も膨大になる。 ○ 各分野を適応策という観点で連結し，シナジー効果を生み出すことが重要。そのためには，各分野をつなぐことができるようなデータや研究が必要（現状はほぼ未整理）。 ○ 様々な分野に関連する適応策の取組をきっかけに，行政の縦割りの改善を。
農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都ブランド・京都地域の特産品の品質保全施策，害虫対策（地域独自の発生状況への対応）を要考慮。 ○ 根底には，中長期的な視点で農業を支えていくという視点が必要。 ○ 暑熱による農業従事者の労働衛生・労働環境への影響も危惧。（健康分野にも関連）
自然生態系	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都は高い山がなくブナ林の追い出し効果（温暖化に伴う成立標高の上昇によるブナ林の消失）が他地域に比べて顕著。 ○ 京都府の生物多様性センター構築の動きとの連携が必要。
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異常気象対応の頻発により，都市インフラ等の品質管理体制の疲弊リスクも。
産業・経済活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業を守る，育てるという観点は重要。 ○ 環境マネジメントシステムなどに適応策の観点を組み込むことも必要。
国民生活	<ul style="list-style-type: none"> ○ ヒートアイランドは，原因もはっきりしており，対策が可能。